



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月1日

上場会社名 株式会社MCJ

上場取引所 東

コード番号 6670 URL <https://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼最高財務責任者 (氏名) 石戸 謙二

TEL 03-6739-3403

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	72,729	14.0	6,652	46.6	6,759	50.0	4,598	46.7
2019年3月期第2四半期	63,783	14.0	4,538	29.3	4,506	27.7	3,134	31.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,920百万円 (73.2%) 2019年3月期第2四半期 2,263百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	46.88	
2019年3月期第2四半期	31.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	73,804	41,254	54.8
2019年3月期	73,035	39,327	52.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 40,437百万円 2019年3月期 38,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.50	20.50
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				20.87	20.87

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,480	4.5	10,110	4.4	10,071	3.9	6,821	2.5	69.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	101,774,700 株	2019年3月期	101,754,100 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,666,652 株	2019年3月期	3,666,652 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	98,092,738 株	2019年3月期2Q	97,978,204 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnet及び当社ホームページに同時に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結経営成績の概要>

当第2四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、企業の収益環境や雇用情勢の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移している一方、世界経済における貿易摩擦の長期化等の懸念材料により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属するパソコン市場は、引き続き、個人向け法人向けとも大幅に伸長したこと等から、前年同期比で出荷台数は66.0%増加、出荷金額についても62.7%の増加となりました。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結結果計期間の売上高は72,729百万円（前年同四半期比14.0%増）、営業利益は6,652百万円（同46.6%増）、経常利益は6,759百万円（同50.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,598百万円（同46.7%増）となり、売上高、各利益の全てにおいて前年同四半期比を上回ると共に、第2四半期連結結果計期間としての過去最高を更新する結果となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

① パソコン関連事業

普及モデルの「mouse」ブランドパソコン、高付加価値・特化型製品であるクリエイター向けパソコン「DAIV」、ゲーミングパソコン「G-Tune」等のBTO（受注生産）パソコン及び完成品パソコンの製造・販売、並びに「iiyama」ブランドによる汎用、デジタルサイネージ、タッチパネルの欧州におけるモニタ販売を中心に、マーケットニーズを的確に汲み取り、新製品・新サービスの投入を行うことで、積極的に事業展開をしております。

国内パソコン関連事業においては、引き続きパソコン用CPUの供給に関する懸念が継続しているものの、2020年1月の「Windows 7」のサポート終了や、消費増税前の駆け込み需要により、マーケット全体の需要が堅調に推移する中、マーケットニーズに合致した高付加価値・特化型のハイスペックパソコンの積極的な販売や、知名度向上によるマーケットシェアの拡大を狙い、2017年3月期より継続的に実施しているテレビCM、Web広告等の広告宣伝効果に加え、とりわけ利益率の高い製品販売に注力することにより、個人向け法人向け共に大きく伸長いたしました。欧州におけるモニタ販売事業においても、欧州経済の不透明感はあるものの売上が前年同四半期を上回るなど底堅く推移いたしました。

以上の結果、当事業における当第2四半期連結結果計期間の売上高は70,799百万円（前年同四半期比14.1%増）、営業利益は6,726百万円（同48.7%増）となりました。

② 総合エンターテインメント事業

「aprecio」ブランドによる複合カフェ店舗の運営や「MIRA fitness」ブランドによる24時間フィットネスジムの運営等を行っております。新規事業として出店を強化している24時間フィットネス事業が堅調に推移し、当第2四半期連結結果計期間の売上高は1,937百万円（前年同四半期比10.6%増）となったものの、24時間フィットネス事業の新規出店に係る初期投資負担等により、営業利益は59百万円（同40.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は73,804百万円となり、前連結会計年度末と比べて768百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金等の営業債権が減少したものの、原材料及び貯蔵品やその他の資産等が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は32,550百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,157百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金等が増加したものの、買掛金等の営業債務が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は41,254百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,926百万円

の増加となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて1,249百万円減少し、19,952百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は1,894百万円（前年同四半期比12.3%減）となりました。これは主に、たな卸資産の増加額2,490百万円、仕入債務の減少額1,060百万円、法人税等の支払額3,087百万円等の減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益6,717百万円、売上債権の減少額1,514百万円等の増加要因があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は743百万円（同29.8%減）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入931百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出1,093百万円、有形固定資産の取得による支出481百万円、無形固定資産の取得による支出103百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は2,020百万円（同41.9%増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入740百万円があったものの、長期借入金の返済による支出1,081百万円、配当金の支払額2,008百万円があったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては現在精査中であり、今後修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

当社グループは、2022年3月期を最終年度とする中期経営計画に基づき、将来のデバイス市場の動向等を的確に汲み取りマーケットニーズに合致した製品のタイムリーな投入を図ると共に、広告宣伝活動によるブランドの認知度向上を継続し、製品及び顧客軸での多様化を図り売上及び利益の拡大に努めてまいります。また、自社の持つバリューチェーンの更なる強化、取り扱い製品やサービスの拡充等を念頭に、M&Aやアライアンスも駆使しつつ、既存の事業領域及び関連領域において更なる事業の拡大を図ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,328	20,084
受取手形及び売掛金	16,943	15,293
商品及び製品	16,261	16,999
仕掛品	156	124
原材料及び貯蔵品	5,937	7,475
その他	1,591	2,329
貸倒引当金	△13	△10
流動資産合計	62,205	62,297
固定資産		
有形固定資産	4,348	4,923
無形固定資産		
のれん	2,057	1,923
その他	468	516
無形固定資産合計	2,526	2,439
投資その他の資産		
その他	4,022	4,205
貸倒引当金	△67	△61
投資その他の資産合計	3,954	4,144
固定資産合計	10,830	11,507
資産合計	73,035	73,804
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,974	8,828
短期借入金	6,580	6,744
未払法人税等	1,553	1,091
製品保証引当金	869	935
その他の引当金	563	509
その他	4,292	4,498
流動負債合計	23,834	22,607
固定負債		
長期借入金	8,195	8,090
退職給付に係る負債	326	338
その他	1,352	1,513
固定負債合計	9,873	9,942
負債合計	33,708	32,550

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,859	3,868
資本剰余金	8,890	8,898
利益剰余金	26,092	28,679
自己株式	△386	△386
株主資本合計	38,456	41,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	29
為替換算調整勘定	9	△650
退職給付に係る調整累計額	8	△1
その他の包括利益累計額合計	33	△622
非支配株主持分	837	816
純資産合計	39,327	41,254
負債純資産合計	73,035	73,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	63,783	72,729
売上原価	49,015	54,616
売上総利益	14,767	18,113
販売費及び一般管理費	10,228	11,460
営業利益	4,538	6,652
営業外収益		
受取利息	46	33
受取配当金	18	-
為替差益	-	30
負ののれん償却額	9	9
受取手数料	28	23
その他	66	91
営業外収益合計	169	188
営業外費用		
支払利息	39	47
為替差損	140	-
支払手数料	14	19
その他	7	14
営業外費用合計	201	81
経常利益	4,506	6,759
特別利益		
固定資産売却益	2	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産除却損	0	15
固定資産売却損	-	0
減損損失	0	-
賃貸借契約解約損	1	-
事務所撤退費用	-	27
その他	0	0
特別損失合計	1	43
税金等調整前四半期純利益	4,506	6,717
法人税、住民税及び事業税	1,273	2,188
法人税等調整額	78	△70
法人税等合計	1,352	2,118
四半期純利益	3,154	4,599
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,134	4,598

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	3,154	4,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	4
為替換算調整勘定	△916	△673
退職給付に係る調整額	12	△9
その他の包括利益合計	△890	△678
四半期包括利益	2,263	3,920
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,264	3,942
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,506	6,717
減価償却費	233	368
減損損失	0	-
のれん償却額	179	118
負ののれん償却額	△9	△9
受取利息及び受取配当金	△64	△33
支払利息	39	47
為替差損益 (△は益)	26	1
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	1,233	1,514
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△317	△2,490
仕入債務の増減額 (△は減少)	△386	△1,060
未払金の増減額 (△は減少)	△143	△5
預り金の増減額 (△は減少)	79	45
その他	△479	△216
小計	4,894	4,994
利息及び配当金の受取額	64	33
利息の支払額	△39	△47
法人税等の支払額	△2,795	△3,087
法人税等の還付額	35	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,159	1,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	△95
定期預金の払戻による収入	16	90
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による収入	18	-
投資有価証券の取得による支出	△52	△1,093
投資有価証券の売却による収入	-	931
有形固定資産の取得による支出	△726	△481
有形固定資産の売却による収入	2	5
無形固定資産の取得による支出	△73	△103
差入保証金の差入による支出	△52	△52
差入保証金の回収による収入	6	42
貸付けによる支出	△828	△10
貸付金の回収による収入	658	12
その他	△6	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,058	△743

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,600	400
長期借入れによる収入	-	740
長期借入金の返済による支出	△1,193	△1,081
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△72	-
配当金の支払額	△1,749	△2,008
その他	△9	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,424	△2,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	△482	△379
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△805	△1,249
現金及び現金同等物の期首残高	17,932	21,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,126	19,952

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテ インメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,030	1,752	63,783	—	63,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	—	21	△21	—
計	62,052	1,752	63,804	△21	63,783
セグメント利益	4,523	100	4,623	△84	4,538

(注) 1. セグメント利益の調整額△84百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△378百万円、セグメント間取引消去等294百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテ インメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,792	1,937	72,729	—	72,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	7	△7	—
計	70,799	1,937	72,737	△7	72,729
セグメント利益	6,726	59	6,786	△133	6,652

(注) 1. セグメント利益の調整額△133百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△441百万円、セグメント間取引消去等308百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

2019年10月に発生した台風19号の影響により、千曲川が氾濫し、当社子会社が一部製品の製造を委託している外部委託先の施設が浸水したため、在庫品及び部材品が被害を受けました。また、現在、デスクトップPCパソコンの一部につきまして、納期及び生産に影響が出ております。

<業績に与える影響について>

本件が連結業績に与える影響は、現在調査中であります。